

秋から春先は空気の乾燥する季節 ～火の取り扱いに十分注意しましょう～



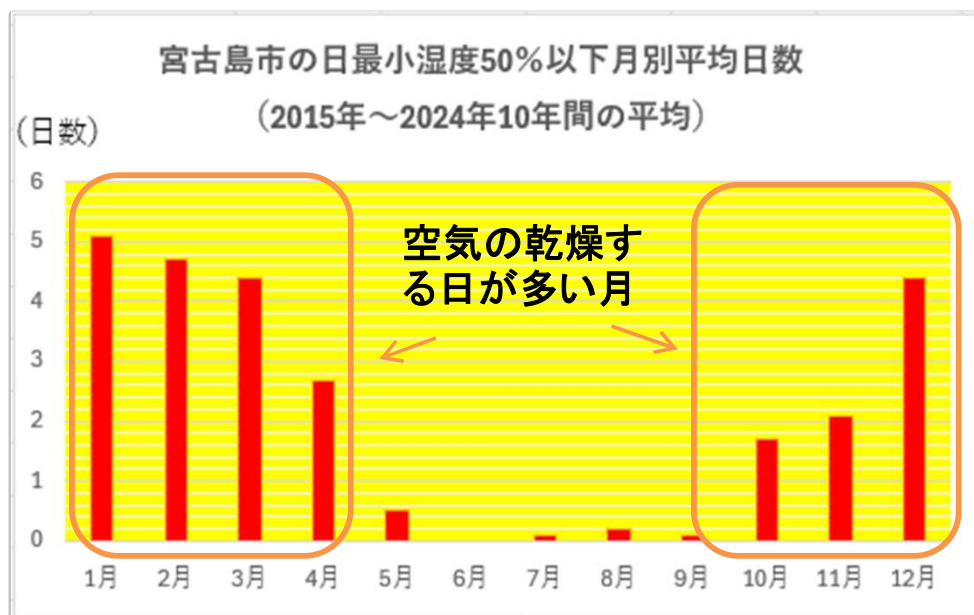
宮古島地方では秋から春先にかけて空気が乾燥する日が多くなります。この時期は火災のリスクが高くなるため、火の取り扱いには注意が必要です。

気象台では、空気が乾燥し火災が発生する危険が大きいと予想される場合に、**乾燥注意報**を発表して住民の方々に注意を呼びかけています。**火災は一瞬で大切な命や財産を奪う可能性があります。これからの季節、火の取り扱いに十分注意してください。**

●宮古島地方の乾燥注意報の発表基準

最小湿度50%以下で、実効湿度※60%以下と予想される場合に発表します。

(※実効湿度：木材の乾燥の程度を表す指数で、数日前からの湿度を考慮に入れて計算した湿度のこと)



上のグラフは、2015年～2024年の10年間で、宮古島市における日最小湿度50パーセント以下の月別平均日数です。10月から翌年4月までは空気の乾燥する日が多いことが分かります。火災の原因としては、ガスコンロの消し忘れや、タバコの火の不始末をよく耳にしますが、**宮古島地方ではサトウキビ畑での火入れ作業時にも火災が発生しています。**

**乾燥注意報が発表されているかを確認して
火の取り扱いに一層の注意をしてください。**

宮古島地方気象台

検索

宮古島地方気象台ホームページ
<http://www.jma-net.go.jp/miyako/>

お問い合わせ先： 宮古島地方気象台 TEL：0980-72-3054（平日のみ／8:30～17:15）

